

特別展覧会

「福井県立美術館所蔵 日本画名作選」

会場：鶴岡アートフォーラム ギャラリー2

会期：2008(平成20)年7月26日(土)－8月17日(日)
20日間 月曜休館

997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3

T/0235-29-0260 F/0235-22-6051

鶴岡アートフォーラム (担当：小林)

このたび、鶴岡アートフォーラムでは、福井県立美術館の全面的な協力のもと、特別展覧会「福井県立美術館所蔵 日本画名作選」を開催します。

古来、福井は多くの優れた芸術家を輩出してきたことで知られています。開館30周年を迎えた福井県立美術館は、北陸を代表する美術館として充実したコレクションを誇り、展覧会活動とともに全国から高く評価されています。

本展では、近代日本画コレクションから、「日本美術院(院展)」を中心に、「パンリアル美術協会」や「横の会」に関連する作品を一堂に紹介します。東北初公開となる珠玉の名作を通じて、近代から現代に至る日本画の多様な展開をたどります。

* 福井県立美術館コレクション

<院展>

岡倉天心の父が越前藩士であった関係から、福井県立美術館は充実したコレクションを誇っています。院展発足当時(明治31年)からのメンバーである横山大観、菱田春草、下村観山、木村武山などをはじめ、速水御舟、小林古径、奥村土牛など、多くの名品・秀作が含まれます。

<パンリアル美術協会>

1948(昭和23)年に京都で結成された団体で、創立会員の三上誠が福井出身ということから福井県立美術館所蔵作品の重要な一領域を形成しています。

<横の会>

1984(昭和59)年から1993(平成5)年までの10年間活動した美術団体で、第2回展以降は福井県立美術館へ巡回しました。

ほか、村上華岳や池田遙邨、横山操などの作品を加え、見ごたえのある内容を計画しています。

■展覧会

特別展覧会「福井県立美術館所蔵 日本画名作選」

【会期】7月26日(土)－8月17日(日) 20日間
月曜休館

【場所】鶴岡アートフォーラム ギャラリー2

【開館時間】9:30-19:00 (入場は18:30まで)

【観覧料】

一般 500(400)円／高校・大学生 300(240)円
中学生以下は無料

()内は20名以上の団体料金

*心身障害者の方は半額、介助者は無料

*学校の教育活動として観覧する場合(引率教員含む)は無料

*高校・大学生には高専生、専門学校生を含む。

【内容】

福井県立美術館所蔵作品より日本画43点を展示。

■関連企画「ギャラリートーク」

【日時】8月10日(日)、17日(日)
各14:00～15:00

【場所】鶴岡アートフォーラム ギャラリー2

【参加】申込不要、無料(要観覧券)

【内容】

鶴岡アートフォーラム学芸員による作品解説。

主催：鶴岡アートフォーラム／鶴岡市教育委員会

後援：山形県／朝日新聞山形総局／河北新報山形総局／

荘内日報社／毎日新聞山形支局／山形新聞／

読売新聞山形支局／NHK山形放送局／さくらんぼテレビ

／テレビユー山形／山形テレビ／山形放送／エフエム山形

協力：福井県立美術館

▼裏面もご覧ください

■出品作品（一部）



(左上_作品) 下村観山 『馬朗婦観音図』 大正時代

(右上_作品) 小林古径 『編笠の武士』 1900 (明治33) 年頃

* 掲載において図版使用を希望される際は、作品図版をご提供しますので、鶴岡アートフォーラムまでご連絡をお願いいたします。